参考様式第5－2号

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	(　　　)
目標年度	令和16年度
市町村名 （市町村コード）	会津若松市 （07202）
地域名 （地域内農業集落名）	舘ノ内地区 （二日町、中荒井、東麻生、今和泉、寺堀、鷺林、宮袋、本田、十二所集落）

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

（1） 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	524.70 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	489.98 ha
② 田の面積	434.20 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	90.50 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	64,44 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	46.58 ha
（参考）区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	106.25 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	68.61 ha
（備考）⑤について、規模縮小等の意向が示されている田においては引き受け手が確保される見込みであることから、その合計面積を記載している。	

（2） 地域農業の現状及び課題

■人
〇地区を構成する集落の多くに1経営体以上の認定農業者が存在しており、中小規模の農業者においても多くが現状維持の意向を示していることから、現状は地区内の担い手は確保されている。
〇水稲の作付けだけでなく、野菜や果樹・花き等の園芸作物の栽培も盛んであり、地区内農業者の多くが複合経営を営んでいる。
〇地区全域的に農業者ごとの耕作地が分散しているため、効率的な農地利用の在り方を検討していく必要がある。
〇現状の農業者の高齢化が進んできているため、次世代へ農地・農業を承継していくために、後継者の育成が必要になってきている。

■農地
〇地区内農地の大部分が平坦部の3反区画であり、農地ごとの条件差が少ないため、集落間を超えた農地貸借が盛んである。
〇そのため、担い手への農地の集積は進んでいる一方、集約化が進んでいない。
〇田は多くの引き受け意向が示されており、今後も耕作及び維持管理を継続することが可能であるが、畑地における引き受け意向は不足しているため、新たな引き受け手の確保等を検討する必要がある。
〇住宅地付近の狭小地の維持管理も困難になってきており、こちらは引き受け手の確保は難しいことから、効率的な利活用について検討する必要がある。
〇農地所有者の子弟が市外に転居したことで、所有者不在となる農地が増加しており、遊休農地が発生する原因になっている。
〇農業者の減少や高齢化により、集落ぐるみでの農地や水路の維持管理活動が困難になってきている。

（3） 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

〇現状維持を希望する農業者については、引き続き現在の水稲・野菜・果樹及び花きの栽培を継続していく。
〇今後、担い手が農地を引き受ける際は、所有者の意向を尊重しつつ、目標地図を基に集積・集約化を踏まえて引き受け手を検討していく。
〇現状の担い手がこれ以上畑地を引き受けるのが難しいことから、新規就農者の誘致に活用するといった取り組みを検討していく。
〇地区内に、就農意向を持つ後継者が複数名存在していることから、地区内の担い手を中心に育成を進めていく。

2　農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針
○現状維持の意向が示されている田については、可能な限り現状の耕作者が耕作し続けることとし、規模縮小・リタイアの意向が示された際は、規模拡大の意向を持つ担い手が引き受けることとするが、その際は、目標地図を基に集積・集約化を踏まえて引き受け手を検討していく。 ○畑地において規模縮小・リタイアの意向が示された際は、現状の担い手が引き受けるのは難しいことから、新規就農者の誘致等に活用していく。 ○住宅地付近の狭小地は、引き受け手の確保が見込めないことから、当面は所有者自身による維持管理を図りつつ、より効率的な手法について検討していく。

(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	52　　%	将来の目標とする集積率	64　　%

(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標
○集落間を超えた農地貸借が盛んなことで、農地の集積は進んでいる一方、集約化は図れていない現状であるため、今後の農地貸借においては、農地所有者の意向を尊重しつつ目標地図を基に集約化を踏まえた貸借を推進していく。

3　農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
○集落間を超えた農地貸借が盛んなことで、農地の集積は進んでいる一方、集約化は図れていない現状であるため、今後の農地貸借においては、農地所有者の意向を尊重しつつ目標地図を基に集約化を踏まえた貸借を推進していく。
(2)農地中間管理機構の活用方法
○現状、地区内の農地貸借は、約84%が農業委員会の利用権設定等促進事業による利用権設定を活用して行われているため、契約期間満了後、農地中間管理機構を活用した貸借への移行を推進していく。 ○基盤整備事業を実施する農地では、農地中間管理機構を活用した貸借が必須となるため、事業計画に沿った貸借を推進していく。 ○農地中間管理機構の活用が難しい際は、農地法第3条に基づく貸借を活用していく。 ○中小規模の農業者が農業を継続していくために、農作業受委託契約の活用についても検討していく。 ○地区内に所有者が不在の農地については、所有者不明農地制度を活用した貸借による維持管理を検討していく。
(3)基盤整備事業への取組
○本田集落において、農地中間管理機構関連農地整備事業による基盤整備事業の取組が進行中であることから、関係機関と連携し整備完了に向けて取組を継続していく。 ○現状、基盤整備事業を計画していない集落においても、今後の環境変化に応じて新たな整備事業の必要性について検討していく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
○現状の担い手の子弟の中に、就農意向を持つ者が複数名が存在しており、親との連名で認定農業者を取得している者も存在することから、将来的な地域農業の担い手となるよう育成を進めていく。 ○認定農業者を取得していない中小規模経営体の中にも規模拡大の意向を持つ者が存在することから、規模拡大に向けた体制づくりや、新規の認定農業者の取得等について検討していく。 ○現状維持を希望する農業者については、可能な限り地域の担い手として農業を継続していく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
○農業機械の故障等の不測の事態が生じた際は、農業支援サービス事業者等の活用について検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

□	①鳥獣被害防止対策	☑	②有機・減農薬・減肥料	☑	③スマート農業	□	④輸出	□	⑤果樹等
□	⑥燃料・資源作物等	☑	⑦保全・管理等	□	⑧農業用施設	□	⑨耕畜連携	□	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

<u>②有機・減農薬・減肥料</u>
○環境への負荷が少ない農業である有機農業の取組が地区内で行われていることから、持続可能な食料システムの実現に向けて、取組を継続していく。

<u>③スマート農業</u>
○農業従事者の減少や高齢化による担い手不足などの課題があることから、スマート農業の技術を活用し、省力化や効率的な生産を図っていく。

<u>⑦保全・管理等</u>
○地区内の多くの集落が多面的機能支払制度に取り組んでおり、農地の多面的な機能を維持し、集落内農地を集落で守っていく意識の醸成に効果的な取組であることから、今後も取組を継続していく。

4　地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者（氏名・名称）	現状			10年後（目標年度：令和16年度）				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	別紙の通り		351.94 ha	- ha		351.94 ha	- ha		
計	74経営体		351.94 ha	0 ha		351.94 ha	0 ha		

5　目標地図（別添のとおり）

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

	属性	農業を担う者（氏名・名称）	現状					10年後（目標年度：令和16年度）						
			経営作目等	経営面積		作業受託面積		経営作目等	経営面積		作業受託面積		目標地図上の表示	備考
1	認農	経営体A1	水稲	30.70	ha	-	ha	水稲	30.70	ha	-	ha	A1	
2	認農	経営体A2	複合経営	27.89	ha	-	ha	複合経営	27.89	ha	-	ha	A2	
3	認農	経営体A3	水稲	20.84	ha	-	ha	水稲	20.84	ha	-	ha	A3	
4	認農	経営体A4	複合経営	16.66	ha	-	ha	複合経営	16.66	ha	-	ha	A4	
5	認農	経営体A5	複合経営	11.79	ha	-	ha	複合経営	11.79	ha	-	ha	A5	
6	認農	経営体A6	複合経営	9.89	ha	-	ha	複合経営	9.89	ha	-	ha	A6	
7	認農	経営体A7	複合経営	9.84	ha	-	ha	複合経営	9.84	ha	-	ha	A7	
8	認農	経営体A8	水稲	9.45	ha	-	ha	水稲	9.45	ha	-	ha	A8	
9	認農	経営体A9	水稲	8.92	ha	-	ha	水稲	8.92	ha	-	ha	A9	
10	認農	経営体A10	水稲	8.76	ha	-	ha	水稲	8.76	ha	-	ha	A10	
11	認農	経営体A11	複合経営	8.14	ha	-	ha	複合経営	8.14	ha	-	ha	A11	
12	認農	経営体A12	複合経営	8.14	ha	-	ha	複合経営	8.14	ha	-	ha	A12	
13	認農	経営体A13	水稲	7.99	ha	-	ha	水稲	7.99	ha	-	ha	A13	
14	認農	経営体A14	複合経営	7.07	ha	-	ha	複合経営	7.07	ha	-	ha	A14	
15	認農	経営体A15	複合経営	6.94	ha	-	ha	複合経営	6.94	ha	-	ha	A15	
16	認農	経営体A16	水稲	6.81	ha	-	ha	水稲	6.81	ha	-	ha	A16	
17	認農	経営体A17	複合経営	5.34	ha	-	ha	複合経営	5.34	ha	-	ha	A17	
18	認農	経営体A18	複合経営	5.10	ha	-	ha	複合経営	5.10	ha	-	ha	A18	
19	認農	経営体A19	複合経営	4.66	ha	-	ha	複合経営	4.66	ha	-	ha	A19	
20	認農	経営体A20	複合経営	4.36	ha	-	ha	複合経営	4.36	ha	-	ha	A20	
21	認農	経営体A21	複合経営	4.30	ha	-	ha	複合経営	4.30	ha	-	ha	A21	
22	認農	経営体A22	水稲	4.17	ha	-	ha	水稲	4.17	ha	-	ha	A22	
23	認農	経営体A23	水稲	3.90	ha	-	ha	水稲	3.90	ha	-	ha	A23	
24	認農	経営体A24	複合経営	3.80	ha	-	ha	複合経営	3.80	ha	-	ha	A24	
25	認農	経営体A25	複合経営	3.53	ha	-	ha	複合経営	3.53	ha	-	ha	A25	
26	認農	経営体A26	水稲	3.45	ha	-	ha	水稲	3.45	ha	-	ha	A26	
27	認農	経営体A27	花き	2.95	ha	-	ha	花き	2.95	ha	-	ha	A27	
28	認農	経営体A28	水稲	2.92	ha	-	ha	水稲	2.92	ha	-	ha	A28	
29	認農	経営体A29	水稲	2.23	ha	-	ha	水稲	2.23	ha	-	ha	A29	
30	認農	経営体A30	水稲	2.17	ha	-	ha	水稲	2.17	ha	-	ha	A30	
31	認農	経営体A31	複合経営	2.06	ha	-	ha	複合経営	2.06	ha	-	ha	A31	
32	認農	経営体A32	水稲	2.03	ha	-	ha	水稲	2.03	ha	-	ha	A32	
33	認農	経営体A33	複合経営	2.02	ha	-	ha	複合経営	2.02	ha	-	ha	A33	
34	認農	経営体A34	複合経営	1.76	ha	-	ha	複合経営	1.76	ha	-	ha	A34	

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

	属性	農業を担う者（氏名・名称）	現状					10年後（目標年度：令和16年度）						
			経営作目等	経営面積		作業受託面積		経営作目等	経営面積		作業受託面積		目標地図上の表示	備考
35	認農	経営体A35	水稲	1.71	ha	-	ha	水稲	1.71	ha	-	ha	A35	
36	認農	経営体A36	水稲	1.38	ha	-	ha	水稲	1.38	ha	-	ha	A36	
37	認農	経営体A37	複合経営	1.21	ha	-	ha	複合経営	1.21	ha	-	ha	A37	
38	認農	経営体A38	水稲	1.03	ha	-	ha	水稲	1.03	ha	-	ha	A38	
39	認農	経営体A39	花き	0.69	ha	-	ha	花き	0.69	ha	-	ha	A39	
40	認農	経営体A40	水稲	0.60	ha	-	ha	水稲	0.60	ha	-	ha	A40	
41	認農	経営体A41	水稲	0.60	ha	-	ha	水稲	0.60	ha	-	ha	A41	
42	認農	経営体A42	水稲	0.59	ha	-	ha	水稲	0.59	ha	-	ha	A42	
43	認農	経営体A43	水稲	0.58	ha	-	ha	水稲	0.58	ha	-	ha	A43	
44	認農	経営体A44	水稲	0.58	ha	-	ha	水稲	0.58	ha	-	ha	A44	
45	認就	経営体A45	複合経営	0.44	ha	-	ha	複合経営	0.44	ha	-	ha	A45	
46	認農	経営体A46	複合経営	0.44	ha	-	ha	複合経営	0.44	ha	-	ha	A46	
47	認農	経営体A47	水稲	0.30	ha	-	ha	水稲	0.30	ha	-	ha	A47	
48	認農	経営体A48	水稲	0.30	ha	-	ha	水稲	0.30	ha	-	ha	A48	
49	認農	経営体A49	水稲	0.28	ha	-	ha	水稲	0.28	ha	-	ha	A49	
50	認就	経営体A50	野菜	0.22	ha	-	ha	野菜	0.22	ha	-	ha	A50	
51	利用者	経営体B1	水稲	5.88	ha	-	ha	水稲	5.88	ha	-	ha	B	
52	利用者	経営体B2	水稲	5.77	ha	-	ha	水稲	5.77	ha	-	ha	B	
53	利用者	経営体B3	複合経営	5.48	ha	-	ha	複合経営	5.48	ha	-	ha	B	
54	利用者	経営体B4	複合経営	4.94	ha	-	ha	複合経営	4.94	ha	-	ha	B	
55	利用者	経営体B5	複合経営	4.25	ha	-	ha	複合経営	4.25	ha	-	ha	B	
56	利用者	経営体B6	水稲	4.03	ha	-	ha	水稲	4.03	ha	-	ha	B	
57	利用者	経営体B7	水稲	3.95	ha	-	ha	水稲	3.95	ha	-	ha	B	
58	利用者	経営体B8	複合経営	3.92	ha	-	ha	複合経営	3.92	ha	-	ha	B	
59	利用者	経営体B9	水稲	3.88	ha	-	ha	水稲	3.88	ha	-	ha	B	
60	利用者	経営体B10	複合経営	3.47	ha	-	ha	複合経営	3.47	ha	-	ha	B	
61	利用者	経営体B11	水稲	3.43	ha	-	ha	水稲	3.43	ha	-	ha	B	
62	利用者	経営体B12	複合経営	3.35	ha	-	ha	複合経営	3.35	ha	-	ha	B	
63	利用者	経営体B13	複合経営	3.06	ha	-	ha	複合経営	3.06	ha	-	ha	B	
64	利用者	経営体B14	水稲	2.90	ha	-	ha	水稲	2.90	ha	-	ha	B	
65	利用者	経営体B15	複合経営	2.83	ha	-	ha	複合経営	2.83	ha	-	ha	B	
66	利用者	経営体B16	複合経営	2.76	ha	-	ha	複合経営	2.76	ha	-	ha	B	
67	利用者	経営体B17	複合経営	2.69	ha	-	ha	複合経営	2.69	ha	-	ha	B	
68	利用者	経営体B18	水稲	2.57	ha	-	ha	水稲	2.57	ha	-	ha	B	

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

	属性	農業を担う者（氏名・名称）	現状					10年後（目標年度：令和16年度）						
			経営作目等	経営面積		作業受託面積		経営作目等	経営面積		作業受託面積		目標地図上の表示	備考
69	利用者	経営体B19	複合経営	2.53	ha	-	ha	複合経営	2.53	ha	-	ha	B	
70	利用者	経営体B20	複合経営	2.40	ha	-	ha	複合経営	2.40	ha	-	ha	B	
71	利用者	経営体B21	複合経営	2.34	ha	-	ha	複合経営	2.34	ha	-	ha	B	
72	利用者	経営体B22	複合経営	2.31	ha	-	ha	複合経営	2.31	ha	-	ha	B	
73	利用者	経営体B23	複合経営	1.17	ha	-	ha	複合経営	1.17	ha	-	ha	B	
74	利用者	経営体B24	水稲	0.50	ha	-	ha	水稲	0.50	ha	-	ha	B	